

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E12 教職概論	亀井 裕子	単独	2単位	こども学科 2年次	前期	選択	必修			AB
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
人間形成の基礎を培う教育職員の責務は重要なものがあることを学ぶ。教育職員に関する職務の意義やその果たす役割、職制の概要について理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	教職の意義、目的① 教育観及び教職観について学ぶ	シラバスを読む	教育観や教職観についてまとめる	9	幼稚園教諭の職務 幼稚園教諭の身分、服務について学ぶ	幼稚園教育要領を読む	学んだことをまとめる		
	2	教職の意義、目的② 社会が求める人材育成について考える	教職について調べる	人材育成についてまとめる	10	教師の職務 人間形成の支援について学ぶ	職務について調べる	学びのまとめをする		
	3	教師の資質能力① 豊かな人間性、教育者としての使命感について学ぶ	教師の資質とは何かを考える	教師の人間性や使命感についてまとめる	11	教育課程編成の基本 実態と要請について考える	教育課程について調べをする	教育課程に関する実態を掴む		
	4	教師の資質能力② 子どもを取り巻く問題と教育のあり方	前時の振り返りをしていく	子どもの問題についてまとめる	12	指導計画の作成 学級経営と教育活動について考える	指導計画について調べをする	分かったことをまとめる		
授業の概要										
教育職員の職務や意義について理解する。 教育職員として必要な資質能力を身に付けるために現場の実践事例などを基に学ぶ。	5	保育者の資質能力 幼児の発達について理解する	幼児の発達について調べる	幼児の発達についてまとめる	13	研修と勤務 教師の資質向上と教師の評価について学ぶ	教員の研修について調べる	分かったことをまとめる		
	6	幼稚園教諭の資質能力① 指導計画及び学級経営について学ぶ	幼児教育における指導計画について調べる	指導計画についてまとめる	14	今後の課題 これからの幼児教育とチーム学校としての教師のあり方について考える	幼児教育の課題について調べる	学びのまとめをする		
	7	幼稚園教諭の資質能力② 園務分掌や幼児管理について学ぶ 保育者間の連携による専門性の発揮について	保育者の仕事について調べる	園の仕事についてまとめる	15	教職についてのまとめ	これまでの資料に目を通す	学びの総まとめをする		
	8	教師の役割 教師の役割について知る	前時までの復習をする	教師の役割をまとめる						
教科書・テキスト等	幼稚園教育要領、保育所指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>（最新版）（チャイルド社）			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					平常点 課題(レポート) 試験	30% 10% 60%	意欲 態度 テーマの理解 自分の考え 丁寧さ まとめ方 理解度 自分の考え			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
こども家庭福祉	出川 聖尚子	単独	2単位	音楽学科・こども学科 2年次	前期		必修			ABC EF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
児童・家庭の生活実態と社会情勢について理解できる。児童家庭福祉の理念および制度の発展過程に関する知識を習得できる。子どもの権利の歴史および思想に関する知識を習得できる。現在の児童・家庭福祉制度や法制度について理解でき、課題を理解できる	回	学修内容			回	学修内容				
	1	オリエンテーション			9	児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）と配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）				
	2	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際①少子化と家庭の現状および対策			10	児童福祉関連する法律について 母子及び寡婦福祉法、母子保健法など				
	3	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際②いじめ・少年犯罪・青少年育成			11	児童福祉各種手当について 児童手当法、児童扶養手当法、特別児童扶養手当等の支給に関する法律など				
	4	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際③家庭内暴力・児童虐待			12	児童・家庭に関連する施策 次世代育成支援対策推進法、少子化社会対策基本法、児童虐待防止法など				
授業の概要										
まず、現代の子どもの育ち・子育て家庭の現状を理解する。続いて、我が国における児童家庭福祉施策（児童家庭福祉の理念・対象となる範囲・社会に果たした役割とその意義など）の歴史の展開、および現在の児童福祉の法体系および実施体制について理解する。さらに子どもの権利について理解し、児童家庭福祉におけるその実施について考えていく。	5	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際④ひとり親家庭			13	児童・家庭福祉制度における組織・団体、専門職の役割と実際				
	6	児童・家庭福祉制度の発展過程			14	児童・家庭福祉制度における多職種連携、ネットワークと実際及び、児童相談所の役割と実際、子ども家庭福祉の専門職				
	7	児童の定義と子どもの権利			15	まとめ				
	8	児童福祉法								
教科書・テキスト等	『最新 社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』（中央法規）			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					小レポート（35%） 課題レポート（50%） 授業への参加度（15%）					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E14 子ども家庭支援論	岡村 ゆかり	単独	2単位	子ども学科 2年次	前期	選択		必修		ABCDEF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
【授業のテーマ】子ども家庭支援について、子ども及び子育て家庭を取り巻く環境や支援の現状と課題を踏まえ、子どもの最善の利益やアドボカシー等の観点から考える 【到達目標】 ①子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解することができる。 ②保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解することができる。 ③子育て家庭に対する支援の体制について理解することができる。 ④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解することができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	子ども家庭支援の意義と必要性	テキストの「はじめに」を読む	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する	9	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携、協力	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する		
	2	子ども家庭支援の目的と機能	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する	10	子ども家庭支援の内容と対象	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する		
	3	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する	11	保育所等を利用する子どもの家庭への支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する		
	4	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する	12	地域の子育て家庭への支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する		
授業の概要	この科目では、子ども及び子育て家庭を取り巻く環境の理解を深め、子育て家庭への支援に関する保育士としての基本姿勢や支援内容、さらには、支援の実践方法・技術などを学びます。 基本的には講義形式で行いますが、事例を用いたグループワークなどの演習形式で行う場合もあります。									
	5	子どもの育ちの喜びの共有	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する	13	要保護児童およびその家庭に対する支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する		
	6	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する	14	子育て支援に関する課題と展望	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する		
	7	保育士に求められる基本的態度	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する	15	まとめ（試験）	これまでの授業内容を復習する	学びを総まとめ		
	8	家庭の状況に応じた支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事柄、わからなかった点を整理する						
教科書・テキスト等	『新・基本保育シリーズ⑤ 子ども家庭支援論』中央法規(2019年)	成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
参考書・参考資料等	適宜配布する		期末試験 課題/レポート 平常点(態度・行動観察)	70% 20% 10%	理解の程度 課題への取り組み姿勢 参加態度					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E15 子ども家庭支援の心理学	荒木 晴美	単独	2単位	子ども学科 2年次	前期	選択				ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
①生涯発達に関する心理学の基礎を学び、発達領域や発達理論を学ぶ意義について理解する。 ②家族・家庭の意義と機能を理解し、親子関係・家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭に関する現状と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	授業のガイダンス 生涯発達とライフサイクル	エリクソンのライフサイクル論を調べておく	様々な発達領域・発達理論の関係について整理する	9	ライフコースと仕事・子育て	ライフコースと何か調べておく	ワーク・ライフ・バランスについてまとめる		
	2	乳幼児期から学童期前期にかけての発達	アタッチメントについて調べておく	心理社会的問題をまとめる	10	多様な家庭とその理解	ひとり親家庭の現状について調べておく	支援のあり方をまとめる		
	3	学童期後期から青年期にかけての発達	ピアジェの認知発達理論について調べておく	自分自身のアイデンティティの状態を把握する	11	特別な配慮を要する子どもと家庭	どのような特別な配慮があるか調べておく	保護者や外部機関との連携のポイントをまとめる		
	4	成人期から老年期にかけての発達	成人期以降の生涯発達の課題を考えておく	成人期以降の発達の特徴と発達課題を整理する	12	なぜ子どもの精神保健を学ぶのか	精神保健とは何か調べておく	子どもの健康な発達を支える親子支援についてまとめる		
授業の概要	4つのテーマに沿って①より順に学んでいく。 人が生涯にわたって発達していく過程を、各時期の特徴や課題を学ぶ。個人と同じく家族もまた発達し、親も子育てを通じて発達・成長していくことの意味を学ぶ。現代社会における家庭や子育ての現状と課題を学び、そうした家庭に対する支援も理解する。 子どもの心の健康について、環境との関連や、障がいや疾患の基本的な内容と合わせて学ぶ。									
	5	家族・家庭の意義と機能	自分なりに家族・家庭とは何か考察しておく	家族の現状を規模・構造、機能から整理する	13	子どもの生活・生育環境とその影響	「感受期」「レジリエンス」について調べておく	環境と子どもの発達の関係性について整理する		
	6	親子関係・家族関係の理解	多様な親子関係を調べておく	心理学の観点から親子関係の特徴をまとめる	14	子どもの心の健康にかかわる問題①	「発達障がい」について調べておく	発達障がいの症状や支援の方法をまとめる		
	7	子育ての経験と親としての育ち	「親になる」とはどのようなことか考察しておく	親としての発達をまとめる	15	子どもの心の健康にかかわる問題②	心の状態が関係する疾患を調べておく	その疾患の症状や対応についてまとめる		
	8	子どもと家庭の状況	現代日本の家庭状況を調べておく	家庭状況の課題を整理する						
教科書・テキスト等	子ども家庭支援の心理学(北樹出版)	成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
参考書・参考資料等			期末テスト 課題・レポート 平常点	70% 10% 20%	学習内容理解 記述内容 態度・行動観察・毎時間の振り返り					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3C16 子どもの健康と安全	末武 けい子	単独	1単位	子ども学科 2年次	後期	選択		必修		ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
保健活動の計画及び評価と心身の健康に関する保健活動や環境を理解する。また、体調不良に対する適切な対応と感染症対策・衛生管理並びに安全管理を理解して、保育現場において実践できる応用的知識と技術を習得する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション（子どもの健康と安全） 1、保健的観点をふまえた保育環境及び援助（1）保育環境	シラバスとテキストを熟読	自分の成功体験を確認し、学修のまとめをする	9	4、感染症対策（嘔吐処理等） （1）感染症の集団発生の予防 （2）感染症発生時と罹患後の対応 レポート連絡	テキストを熟読する	学修（嘔吐処理等）のまとめをする		
	2	（2）健康及び安全管理（乳幼児等の視力・聴力・身長・体重測定体験）	テキストを熟読する	子どもの安全を考え、学修のまとめをする	10	5、保育における保健的対応 （1）保健的対応の基本的な考え方 （2）3歳未満児への対応（おむつ交換・人工乳・沐浴体験）	プリントを熟読する	学修（3歳未満児等）のまとめをする		
	3	2、保育における健康及び安全管理（1）衛生管理（手洗い体験） DVD（0歳児）視聴	テキストを熟読する	手洗いの仕方を習得し、学修のまとめをする	11	（3）個別配慮を要する子どもへの対応 DVD（1～2歳児）視聴	プリントを熟読する	学修のまとめをする		
	4	（2）事故防止及び安全対策（子どもの口徑体験）	テキストを熟読する	学修（安全対策）のまとめをする	12	（4）障害がある子どもへの対応 DVD（3～5歳児）視聴 レポート提出	応急処置について調べる	学修のまとめをする		
授業の概要	5	（3）危機管理（4）防災への備え（子どもの視野体験）	テキストを熟読する	学修（防災）のまとめをする	13	6健康及び安全管理と実施体制（1）保育における保健活動の計画及び評価	テキストを熟読する	学修（保健計画）のまとめをする		
保健の専門的知識を深めた上で、健康及び安全管理の体制づくりを学ぶ。また、体調不良児の対応や応急処置・救命処置及び感染症拡大防止を学び、健康・安全管理は全職員及び保護者の共通理解の下、連携・協働して実施することを学ぶ。	6	3、子どもの体調不良等に対する適切な対応（1）体調不良や障害が発生した場合の対応（2）応急処置（包帯巻参）	応急処置について調べる	学修（応急処置）のまとめをする	14	（2）職員間の連携・協働と組織的取組（乳幼児健診体験）	テキストを熟読する	学修（乳幼児健診等）のまとめをする		
	7	救命処置及び乳幼児の救命処置 消防署救急隊員による実技講習（2時間） ・心肺蘇生の手順	テキストを熟読する	学修（心肺蘇生）のまとめをする	15	まとめ ・これまでの学修内容を総括する	これまでの学修内容を振り返る	これまでの学修内容の要点をまとめる		
	8	AEDの使用手順 ・誤飲時の対応 ・エビペンの使い方	プリントを熟読する	学修（AED使用）のまとめをする						
教科書・テキスト等	子どもの健康と安全 演習ノート（診断と治療社）、適宜プリント配布			成績評価基準	評価方法	割合（%）	評価のポイント			
参考書・参考資料等					平常点（態度・行動観察） 課題 / レポート 期末テスト 毎時間の振り返り	10% 10% 70% 10%	受講態度、実技の取り組み 内容の深さや自分の考え 筆記試験の点数 提出状況、内容の充実			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E17 子どもの食と栄養	池上 由美	単独	2単位	子ども学科 2年次	前期	選択		必修		ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
保育者として、栄養教育・食教育の支援方法を修得する	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 子どもの健康と食生活の意義Ⅰ ・子どもの食と健康を概観する ・小児期の栄養と食生活の意義	シラバスの確認	テキスト・配付資料の見直し	9	幼児期の食生活Ⅰ ・食機能の発達と成長 ・幼児期の栄養・食生活の実態 ・保育者としての対応	前回、指示をしたテキストのページを予習	幼児期の食生活について対応を考える		
	2	子どもの健康と食生活の意義Ⅱ ・身体発育と栄養状態の把握 ・食べる機能・消化吸収機能の発達	前回、指示をしたテキストのページを予習	テキスト・配付資料の見直し	10	幼児期の食生活Ⅱ ・間食の意義とその実践 ・間食の与え方 ・幼児期の弁当	前回、指示をしたテキストのページを予習	間食内容を考える		
	3	栄養に関する基礎知識Ⅰ ・栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能 ・食物連鎖	前回、指示をしたテキストのページを予習	テキスト・配付資料の見直し	11	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 ・疾病および体調不良の子どもへの対応 ・食物アレルギー	前回、指示をしたテキストのページを予習	食物アレルギーの保育者の対応を考える		
	4	栄養に関する基礎知識Ⅱ ・日本人の食事摂取基準 ・食事構成に関する基礎知識	前回、指示をしたテキストのページを予習	テキスト・配付資料の見直し	12	児童福祉施設における食生活 ・各施設の食生活 保育所 乳児院	前回、指示をしたテキストのページを予習	各施設の特徴を復習する		
授業の概要	5	栄養に関する基礎知識Ⅲ ・食事バランスガイドとは ・食事バランスガイドの作成	前回、指示をしたテキストのページを予習	食事バランスガイドの内容を整理する	13	学齢期の食生活上の問題 ・学齢期の食生活 こ食 食育の動向	前回、指示をしたテキストのページを予習	学齢期の食課題をまとめ、対策を考える		
子どもの食生活は、生活習慣の基礎となり、将来の健康を左右する幼児の身体的（発育・発達）特徴を知り、栄養とその機能の基礎・役割と、幼児期の適切な食の選択と食べ方を学ぶ	6	生涯発達と食生活 妊娠・授乳期の栄養と食生活 ・ライフサイクルと食生活 ・妊婦の痩身願望と胎児への影響	前回、指示をしたテキストのページを予習	食生活を振り返り次世代の栄養摂取について考える	14	保育者による食育・栄養教育 ・食育 ・発育・発達過程に応じて育てたい“食べる力”とは	前回、指示をしたテキストのページを予習	保育所等における食育の実態を調べる		
	7	乳児期の食生活Ⅰ ・食機能の発達と成長 ・乳汁栄養・調乳方法の確認	前回、指示をしたテキストのページを予習	調乳方法をまとめる	15	まとめと試験（総復習） *これまでの講義・演習内容を総括し、理解を深める	これまでの授業内容を熟知しておく			
	8	乳児期の食生活Ⅱ ・離乳の意義とその実践 ・離乳時期の忌避食品の確認	前回、指示をしたテキストのページを予習	成人の献立から離乳食を展開する						
教科書・テキスト等	「第6版 子どもの食生活―栄養・食育・保育―」（ななみ書房）、授業ごとに資料を配付する			成績評価基準	評価方法	割合（%）	評価のポイント			
参考書・参考資料等					筆記試験 平常点（行動観察） 課題提出	60% 30% 10%	授業の取り組み・参加態度など 提出期日の順守			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E2E18 保育内容（健康）	石岡 ひろみ	単独	2単位	こども学科 2年次	後期	選択必修	必修	必修		ABCDEF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
乳幼児の心身の発達を学び、子どもたちが充実感を持ち見通しをもって行動する方法を知る。健康で安全な生活をつくり出す力を養うための環境構成や援助の仕方について理解し、指導できるようにする。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	第1章 領域「健康」のめざすもの 保育・幼児教育の基本 園の健康のねらい・内容	シラバスの内容を 確認 第1章を 精読しておく	研究課題に取り 組む（幼児の相 違点、類似点）	9	第8章 幼児の安全管理と安全教育 安全管理と安全教育の必要性 園内における事故・傷害	教科書、第8章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（事故と発 育発達上の特 徴）		
	2	第2章 幼児の健康 幼児の健康状態の把握と健康を めぐる最近の問題	教科書、第2章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（環境要 因、アレルギー 疾患）	10	第8章 幼児の安全管理と安全教育 事故の原因と特徴/安全管理と教育の 実際 模擬保育～健康・安全を伝える	教科書、第8章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（安全管理 と安全教育）		
	3	第3章 幼児の発達理解 子どもの理解を深める発達観 運動機能の発達/発達理解、指導案 作成	教科書、第3章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（原始反射 のまとめ）	11	第9章 応急処置法 幼児によくみられるけがや急病と その応急処置法	教科書、第9章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（保育現場 での事故）		
	4	第3章 幼児の発達理解 「発達表」を基に理解を深める	教科書、第3章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（あそびと 社会性の発達）	12	第10章 運動体験を広げる体育的行事 保育の成果を公開する行事 ～工夫して伝える	教科書、第10章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（運動会の プログラム実 施）		
授業の概要	5	第4章 幼児のあそびの発達と健康 幼児のあそびとは何か/幼児の発達 過程、「幼児期運動指針」/指導案作 成	教科書、第4章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（伝承遊 びのおもしろさ）	13	第10章 運動体験を広げる体育的行事 季節感のある運動あそびを伴う行事 環境と運動あそびが育つ行事	教科書、第10章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（運動体験 が広がる行事）		
	6	第5章 幼児の体格・運動能力の現状 と課題 体格の年代変化 定量的運動能力の年代変化	教科書、第5章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（発達と生 活環境の影響）	14	一年を通して伝えていきたい子どもの病 気についての知識や健康に関する生活習 慣について学び、実際に「健康だより」 を作成	掲載資料収集に ついて考える	研究課題に取り 組む		
	7	第6章 幼児の生活スタイル 現状と問題点、生活習慣の自立、指 導 食育～映像を活用した指導	教科書、第6章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（正しい生 活リズムの重要 性）	15	健康だよりに必要な内容、キーワード、 読みやすい文字、レイアウト等を考 えて仕上げる 幼児期運動指針/まとめ	資料を基に「健 康だより」を作 成する	学修したことを 振り返りまと める		
	8	第7章 幼児の体格・運動能力測定法 と評価 体格・運動能力の測定法、評価	教科書、第7章 を精読しておく	研究課題に取り 組む（評価の有 効性）						
教科書・テキスト等	新保育ライブラリ 保育内容 健康（新版）（北大路書房）、 平成29年度告示「幼稚園教育要領、幼児連携型認定こども園教 育・保育要領、保育所保育指針（チャイルド本社）」			成 績 評 価 基 準	評価方法	割合（%）	評価のポイント			
					期末試験	50%	理解度、独自の考え			
					課題／発表／振り返り	30%	課題への取り組み方、発表の内容			
参考書・参考資料等	授業中、適宜資料配付				平常点（態度）	20%	保育者の視点をもった積極的な取り組み			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E2E19 保育内容（人間関係）	松岡 和男	単独	1単位	こども学科 2年次	後期	選択必修	必修	必修		ABCDF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
幼児を取り巻く人間関係をめぐる 現代的課題を理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修						
幼児の人間関係の発達につい て、幼稚園生活における関係発達 論的視点から理解する。	1	オリエンテーション 現代社会と幼児の人間関係 ～家庭・地域での経験と幼児教育に期 待されるもの	シラバスをもと に、学習内容の 見直しを立てる	学んだことをま とめる						
	2	3歳未満児における人間関係の発達 ～身近な大人との関係を基盤として育 つ子ども 【映像資料を活用して】	テキストや参考 資料の該当箇所 を読んでおく	幼児教育の特性 についてまとめ る						
	3	幼児の遊びや生活の中で見られる人と 関わる力の育ち ～関係性の育ちや個と集団の育ちを視 点として	幼児の遊びや生 活について、自 分でもまとめて おく	配布資料を読み 直す						
	4	乳幼児期の自立心の育ち ～「イヤ」「ジブン」から始まる自 立への道 *グループ活動による模擬保育	乳幼児期の自立 心について、復 習しておく	学修内容を振り 返し、整理する						
授業の概要	5	幼児期の協同性の育ち ～目標を共有し協力してやり遂げよう とする力の育ち	テキストや参考 資料の該当箇所 を読んでおく	配布資料を読み 直す						
現代の幼児の人間関係の育ちに影 響を与えている社会的要員につ いて理解し、幼児教育で保障すべき 教育内容に関する知識を身に付け る。 特に、「人間関係」の指導の基盤 となる基礎理論として、関係発達 論的視点について学び、他者との関 係や集団との関係の中で幼児期の 人と関わる力が育つことを理解す る。	6	幼児期の道徳性・規範意識の芽生えと 育ち ～他者との葛藤体験を通して身に付け る力の育ち	幼児期の道徳性 についてテキス トで確認してお く	学修内容をふり 返し、資料を読 み直す						
	7	乳幼児期の人間関係のひろがり ～家庭生活・園生活・地域へと ひろがる場と関係性	テキストや参考 資料の該当箇所 を読んでおく	学修内容をふり 返し、資料を読 み直す						
	8	乳児期に育みたい資質・能力と人間関 係 ～乳幼児期から学童期以降の育ち のつながりを理解する *部分指導案の作成	乳幼児期から学 童期以降のつな がりについて考 えておく	学修内容をふり 返し、資料を読 み直す						
教科書・テキスト等	新保育ライブラリ「保育内容 人間関係」（北大路書房）			成 績 評 価 基 準	評価方法	割合（%）	評価のポイント			
					定期試験	50%	課題についての内容充実、自分の考え			
					毎時の振り返りワーク	40%	内容理解の深さと自分の考え			
参考書・参考資料等	平成29年度告示「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼児連携型認定こども園教育・保育要領」（チャイルド 本社）」				平常点	10%	積極性、出席時数は、4/5以上が必要			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E2E20 保育内容（環境）	松岡 和男	単独	1単位	子ども学科 2年次	後期	選択必修	必修	必修		AB C D F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
幼児を取り巻く環境と、幼児の発達についての意義を理解する。 幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。 幼児期の標識・文字等、情報・施設との関わりを学ぶ。	回	学修内容	事前学修	事後学修						
	1	オリエンテーション 現代社会の幼児を取り巻く環境と課題～環境の諸側面（物的・人的・安全等）、知識基盤社会、E S D等	シラバスをもとに、学習内容の見直しを立てる	学んだことをまとめる						
	2	乳幼児の発達における環境との関わり～乳幼児の環境との関わりを捉える心理学的観点【映像資料】	テキストや参考資料の該当箇所を読んでおく	幼児教育の特性についてまとめる						
	3	乳幼児期・児童期の認知的発達～乳幼児期・児童期の認知的発達の特徴	乳幼児の認知的発達についてテキストで確認する	配布資料を読み直す						
	4	乳幼児の物理的、数量・図形との関わり～乳幼児の物理的、数量・図形との関わりと具体的な活動（おもちゃづくり等）	自分自身が乳幼児に興味をもった対象について調べる	学びを通して、自分自身の乳幼児期を振り返りかえり調べる						
授業の概要	5	乳幼児の自然と関わり①～乳幼児の生物・自然の関わりと具体的な活動事例（自然物の遊び他）	自然環境の具体例を考え、準備しておく	配布資料を読み直す						
	6	乳幼児の自然と関わり②～乳幼児生物・自然の関わりと具体的な活動事例（自然体験活動・フィールドワーク等）	テキストや参考資料の該当箇所を読んでおく	フィールドワークでの気づきなどをまとめる						
	7	乳幼児の標識・文字等との関わり～乳幼児を取り巻く標識・文字環境と、それらに関わる具体的な活動事例（生活の中の標識・文字探し等）	周囲にある標識や文字についてスマホ写真で撮っておく	学修内容をふり返し、資料を読み直す						
	8	乳幼児の情報・施設との関わり～乳幼児の生活に関係の深い情報・施設と、それらに関わる具体的な活動事例に部分指導案作成	乳幼児に関わる施設とその役割について調べておく	学修内容をふり返し、資料を読み直す						
教科書・テキスト等	保育内容「環境」～あなたならどうしますか？(萌文書林)	成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
			定期試験	50%	課題についての内容充実、自分の考え					
			毎時の振り返りワーク	40%	内容理解の深さや自分の考え					
参考書・参考資料等	平成29年度告示「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(チャイルド本社)	平常点		10%	積極性、出席率は、4/5以上が必要					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E2E21 保育内容（言葉）	榎山 範夫	単独	2単位	子ども学科 2年次	後期	選択必修	選択必修	選択必修		A B C D
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
○子どもの言葉の育ちと保育者の役割 人は言葉によって認識し、思考し、人とのつながりを深めていく。乳幼児は、身近な人との関わりの中で言葉に関心を持ち、言葉を獲得していく。そんな子どもたちの言葉の発達過程や育ちを支える保育者のかかわり方を身につける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	領域「言葉」① ・ねらい及び内容 ・子どもの言葉の捉え方	領域「言葉」のねらいと内容について調べる。	領域「言葉」のねらいと内容についてまとめる。	9	児童文化財の活用① ・児童文化財とは何か ・絵本 童話	これまでに読んだ心に残る絵本について想起する。	絵本を読み、読み聞かせをしたい絵本を選択する。		
	2	領域「言葉」② ・言葉の感覚 ・領域「言葉」と教科「国語」	領域「言葉」のねらいと内容について調べる。	領域「言葉」と教科「国語」の関連を整理する。	10	児童文化財の活用② ・紙芝居 ・人形劇	紙芝居や人形劇に関する体験について想起する。	パネルシアターの方法を調べ、準備を進める。		
	3	子どもと言葉① ・言葉のはたらき ・身近な世界とかかわる言葉	言葉にはどんなはたらきがあるかを調べて考える。	言葉のはたらき、かかわりと言葉について整理する。	11	読み聞かせの実践① ・絵本や機器を活用した読み聞かせの方法 ・絵本の選択と準備及び指導案作成	読み聞かせしたい絵本の紹介の準備をする。	絵本の読み聞かせの準備をする。		
	4	子どもと言葉② ・生活における言葉の体験 ・言葉が出る条件	どんな体験が子どもの言葉を育てるのかについて考える。	生活と言葉、体験と言葉について整理する。	12	読み聞かせの実践② ・模擬保育における読み聞かせの実践 ・読み聞かせの評価及び改善	絵本の読み聞かせの準備と練習をする。	読み聞かせの奨励点と改善点を整理する。		
授業の概要	5	言葉の発達① ・言葉の前の言葉 ・言葉の発達過程	乳幼児と接した経験から言葉に関わることを想起する。	子どもの言葉の発達過程について整理する。	13	パネルシアターの実践① ・パネルシアターの方法 ・題材の選択と準備及び指導案作成	予定しているパネルシアターの紹介の準備をする。	パネルシアターの準備と練習をする。		
	6	言葉の発達② ・文字への興味・関心 ・個々の言葉の発達への配慮	乳幼児と接した経験から文字に関わることを想起する。	個々の言葉の発達への配慮について考えて整理する。	14	パネルシアターの実践② ・模擬保育におけるパネルシアターの実践 ・パネルシアターの評価及び改善	パネルシアターの準備と練習をする。	パネルシアターの奨励点と改善点を整理する。		
	7	言葉と環境① ・言葉と人的環境 ・人的環境としての保育者の役割	言葉にかかわるどんな人的環境があるか考える。	よりよい人的環境について考えて整理する。	15	子どもの言葉を育てる ・子どもを取り巻く言語環境 ・豊かな言葉を育てる保育者	子どもを取り巻く言語環境の課題について考える。	子どもの言葉をどう育てていきたいかをまとめる。		
	8	言葉と環境② ・言葉と文化的環境 ・文化に触れる意味	言葉にかかわるどんな文化的環境があるか考える。	文化的環境をどのように活用するか考え整理する。						
教科書・テキスト等	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（最新版）(チャイルド社)	成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
			期末試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え					
			事前準備・意見発表・事後整理の状況	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況					
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。	平常点		20%	意見交流への前向きな参加態度					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E1C22 保育内容（表現）	石岡 ひろみ	単独	2単位	こども学科 2年次	後期	必修	必修	必修		A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
子どもの発育・発達に合わせ、子どもたち自ら「やってみたい」という意欲をもつことができるような表現あそびを理解する。そのうえで指導案作成や模擬保育が出来るようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション ・感性、表現の意味と創造性 ・音楽表現、身体表現、 造形表現、言語表現について	シラバスの内容を 確認しておく	本時の学びをま とめる	9	年齢に応じた、秋の表現あそびの展開と 指導案の書き方	秋の表現あそび の展開と工夫を 考えておく	秋の表現あそび の指導案の書き 方についてまと める		
	2	子どもの手あそび歌 心豊かに表現あそびとして楽しむ 情報端末の効果的活用法を考える	1年次に学ん だ、手あそび、 歌あそびを振り 返る	日常的に使える 手あそび、歌 あそびをまとめる	10	年齢に応じた、冬の表現あそび 音楽表現、身体表現、 造形表現、言語表現	冬に活かせる表 現あそびを年齢 毎に考えておく	冬の表現あそび の展開を考える		
	3	日常生活の中の身近な素材を活かした 表現あそびや伝承あそびについて	身近な素材を集 めてみる	身近な素材を 使った表現の展 開を考える	11	年齢に応じた、冬の表現あそびの展開と 指導案の書き方	冬の表現あそび の展開と工夫を 考えておく	冬の表現あそび の指導案の書き 方についてまと める		
	4	年齢に応じた、春の表現あそび 音楽表現、身体表現、 造形表現、言語表現	春に活かせる表 現あそびを年齢 毎に考えておく	春の表現あそび の展開を考える	12	空想の世界から年齢に応じた素材を見つ け、工夫し発展させる 模擬保育の実践	空想の世界で活 かせる年齢に応 じた素材を見つ けておく	年齢を考慮した 空の世界の発展 についてまとめ る		
授業の概要	5	年齢に応じた、春の表現あそびの展開 と指導案の書き方	春の表現あそび の展開と工夫を 考えておく	春の表現あそび の指導案の書き 方についてまと める	13	素ばなしの特性 素ばなしをする上で留意すべき点 (別途資料配布)	素ばなしとは何 か調べる	素ばなしの特性 についてまとめ る		
子どもの豊かな感性や表現を更に 引き出す有効な言葉掛けや環境 について研究し、指導案作成や模擬 保育を実践する。表現あそびの具 体的な指導場面を想定し、保育構 想の向上に取り組む。	6	年齢に応じた、夏の表現あそび 音楽表現、身体表現、 言語表現	夏に活かせる表 現あそびを年齢 毎に考えておく	夏の表現あそび の展開を考える	14	素ばなしを表現豊かに演じる 模擬保育の実践	短い素ばなしの 練習をしておく	素ばなしを実践 してみる		
	7	年齢に応じた、夏の表現あそびの展開 と指導案の書き方	夏の表現あそび の展開と工夫を 考えておく	夏の表現あそび の指導案の書き 方についてまと める	15	保育者の視点をもって素ばなしを演じ、 気づき・振り返りを行う 模擬保育の実践	子どもに伝わる 素ばなしを試み る	これまでの学修 を振り返りまと める		
	8	年齢に応じた、秋の表現あそび 音楽表現、身体表現、 造形表現、言語表現	秋に活かせる表 現あそびを年齢 毎に考えておく	秋の表現あそび の展開を考える						
教科書・テキスト等	平成29年告示/幼稚園教育要領、保育所保育指針、 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド本社)			成 績 評 価 基 準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					期末試験(実技)	50%	理解度、独自性			
					課題/発表/振り返り	30%	課題への取り組み方、発表の仕方			
参考書・参考資料等	適宜資料配付、新訂 豊かな感性を育む身体表現遊び(株) ぎょうせい				平常点(態度)	20%	保育者の視点をもった積極的な取り組み			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E1C23 表現技術	石岡 ひろみ	単独	2単位	こども学科 3年次	前期	必修	必修	必修		A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
ゆたかな表現を通して子どもたちが 自らやってみたいという意欲を 持つことができる様な保育者の表 現技術、支援、指導法を見出し、 実践できるよう学ぶ。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション ミニシアターの成り立ちと特徴につい て 導入、手あそび、絵本の読み聞かせ	おすすめの絵本 を準備しておく	ミニシアターに ついて整理して おく	9	日常保育に活かせる表現技術 季節のお話、伝承あそび ペープサートの活用 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	表現技術にはど のようなものか あるか考える	日常保育におけ る表現技術につ いて整理する		
	2	手あそび、歌あそび、絵本の読み聞か せ 紙芝居の効果的な使い方・演じ方 ミニシアターを保育に活かす	おすすめの手あ そび、歌あそび を準備しておく	ミニシアターの 活かし方をまと める	10	エプロンシアターの誕生と魅力 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	エプロンシア ターの題材を考 えておく	エプロンシア ター制作に向け 準備を進める		
	3	絵本の効果的な使い方・演じ方 手あそび、歌あそび ミニシアターを用いた保育の展開と効 果的な演じ方	ミニシアター、 手あそび等工夫 して演じてみる	ミニシアター等 の演じ方を振り 返る	11	エプロンシアターの仕掛けと工夫 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	エプロンシア ターの工夫を考 える	エプロンシア ター完成に向け 準備を進める		
	4	絵本の読み聞かせ実践 パネルシアターの誕生と魅力 手あそび、歌あそび	パネルシアター の題材を探して おく	パネルシアター 制作の工夫を考 える	12	エプロンシアターの効果的な使い方 指導案作成 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	エプロンシア ターの活かし方 について考える	エプロンシア ター完成に向け 準備を進める		
授業の概要	5	絵本の読み聞かせ実践 パネルシアターを用いた保育の展開 手あそび、歌あそび	パネルシアター 制作の準備をす る	仕上げたパネル シアターの活かし 方を考える	13	エプロンシアターの演じ方 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	エプロンシア ターの演じ方につ いて考える	エプロンシア ター発表の準備 をする		
子どもたちが心を動かしたり、感 性を働かせたりする一助となるよ うに、保育者自身の感性を高め、 表現技術を磨き合う。指導案作成 や模擬保育に、熱心に取り組む。	6	パネルシアターの効果的な使い方・演 じ方 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞か せ	パネルシアター の導入を検討し ておく	何度も演じてみ る	14	手作りのエプロンシアターをいきいきと 演じて、子どもたちとのコミュニケー ションを楽しむ方法を学ぶ	表現豊かにエプ ロンシアターを 演じる練習をす る	エプロンシア ター発表の準備 をする		
	7	パネルシアターを表現豊かに演じて子 どもたちとコミュニケーションを図 る	発表の準備をす る	実際にどう活か すかまとめる	15	手作りのエプロンシアターをいきいきと 演じて、子どもたちとの関わり、伝え たいことを明確にする / 表現技術のまとめ	表現技術の集大成としてエプロ ンシアターを 発表する	これまでの学修 を振り返りまと める		
	8	日常保育に活かせる保育技術 映像を活用した保育を考える 部分保育・指導案の作成	実習の手引きを 準備し指導案に 目を通す	指導案の作成に ついて振り返る						
教科書・テキスト等	平成29年度告示/幼稚園教育要領、保育所保育指針、 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド本社)			成 績 評 価 基 準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					期末試験(実技)	50%	理解度、独自性			
					課題/発表/振り返り	30%	課題への取り組み方、発表の仕方			
参考書・参考資料等	授業中、適宜資料配付				平常点(態度)	20%	保育者の視点をもった積極的な取り組み			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	卒業療法	ディプロマポリシー
KC2E3E24 乳児保育 I	沖田 秀子	単独	2単位	こども学科 2年次	前期	選択		必修		ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
広く乳幼児(3歳未満児)の発達と保育について学び、保育現場での具体的な課題を討議しながら考え、問題解決の方法を理解し、実践できるようにする	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション誕生までのタイムライン、胎内環境を学ぶ	シラバスを熟読する	胎児の成長をまとめる	9	0～1歳児の遊びの内容と実践 教材の紹介、実践、遊びの紹介	教科書、体験と遊びを熟読する	遊びの内容をまとめる		
	2	誕生から7か月までの体の発達の特徴と保育の中で大切にすべきこと、全身運動の発達を学ぶ(プリントで説明)	教科書、発達の過程を熟読する	発達についてまとめる	10	1～2歳児の遊びの内容と実践 教材の紹介、実践、遊びの紹介	教科書、体験と遊びを熟読する	遊びの内容をまとめる		
	3	7か月から1歳3か月までの体の発達の特徴と保育の中で大切にすべきこと、全身運動の発達を学ぶ(プリントで説明)	教科書、発達の過程を熟読する	発達についてまとめる	11	乳幼児の心の発達泣くことから、第一反抗期までの発達を学ぶ	認知の発達を熟読する	理論についてまとめる		
	4	0～1歳までの手の発達の特徴と保育の中で大切にすべきこと、手の運動発達を学ぶ(プリントで説明)	教科書、発達の過程を熟読する	発達についてまとめる	12	乳幼児保育における大人の役割子どもの育ちに対して大人の関わりを学ぶ	教科書、「人と関係をもつ育ち」を熟読する	実践を通して体験をまとめる		
授業の概要										
わが国における乳児保育の変遷と理論や知識・技術の基本を具体的な事例を通して理解し、保育者としての役割を理解する	5	0・1・2歳児の保育環境DVDを観ながら環境を考える	教科書、発達の過程を熟読する	DVDを観ての気づきをまとめる	13	生活習慣の自立に向けて(沐浴・着脱・排泄・睡眠・安全・清潔・健康作り)理論と実践を通して大人の援助の仕方を学ぶ	教科書、援助の実際を熟読する	実践を通して体験をまとめる		
	6	授乳と離乳食について理論を理解し、援助の仕方を学ぶ	教科書の授乳、離乳食について熟読する	理論についてまとめる	14	まとめ・グループ討議乳幼児の心身の発達を再確認し、グループでまとめて発表する	授業を振り返り自分なりの課題をまとめる	援助の仕方を考え、まとめる		
	7	0～2歳児の言葉の発達と関わり(1)乳児の聴覚、言葉の発達を理解する	基礎理論、言葉とコミュニケーションの発達	理論についてまとめる	15	テスト 試験、これまでの講義、演習内容を総括し、理解を深める	総復習	総復習		
	8	0～2歳児の言葉の発達と関わり(2)1・2歳児の言葉の発達を理解する	基礎理論、言葉とコミュニケーションの発達	理論についてまとめる						
教科書・テキスト等	養成校と保育室をつなぐ理論と実践(萌文書林)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					平常点(態度・行動観察) 課題/レポート 2回	20% 60%	積極的な取り組み、出席回数が2/3を満たす 内容の深さと自分の考え			
参考書・参考資料等					グループ討議と発表 毎時間の振り返り	20%	理解度			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	卒業療法	ディプロマポリシー
KC2E3E24 乳児保育 II	沖田 秀子	単独	1単位	こども学科 3年次	後期	選択		必修		ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
乳児保育 I で学んだ知識をより深く考察して保育者としての役割を学習する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	乳児保育の制度と課題を学ぶ	教科書①、保育制度を熟読する	保育制度をまとめる						
	2	乳児保育の基本と重要性を学ぶ	教科書②を熟読する	乳児保育とは何かをまとめる						
	3	保育の原理と保育内容を理解する	教科書④を熟読する	保育内容についてまとめる						
	4	乳児期の心身の発達と援助の仕方を学ぶ	教科書⑤心身の発達を熟読する	発達についてまとめる						
授業の概要										
多岐にわたる専門領域の知識を学び、高い専門性と実践力を備えた保育者を目指す。	5	乳児期の心身の発達と援助の仕方を学ぶ	教科書⑤援助の仕方を熟読する	援助の仕方をまとめる						
	6	保育士の専門性・実践力を学ぶ	教科書③を熟読する	保育士の専門性をまとめる						
	7	乳児保育における計画と実際を学ぶ	保育計画を熟読する	保育計画の書き方をまとめる						
	8	これまでの講義のまとめをする	総復習	総復習						
教科書・テキスト等	養成校と保育室をつなぐ理論と実践I・II(萌文書林)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					平常点(態度・行動観察) 課題/レポート 2回	20% 60%	積極的な取り組み、出席回数が2/3を満たす 内容の深さと自分の考え			
参考書・参考資料等					グループ討議と発表	20%	理解度			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E26 特別支援教育論	河田 将一	複数	1単位	こども学科 2年次	後期		必修			ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
①障害の特性、心身の発達、学習上・生活上の困難等の基礎的知識について理解し例示することができる。②特別支援教育に係る教育課程や支援方法を理解し例示することができる。③特別支援教育の体制整備、個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成、他機関等との連携について、その必要性と方法を理解し説明することができる。④母国語や貧困の問題等がもたらす特別的教育的ニーズに対しての組織的対応の必要性を理解し説明することができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	障害特性の理解と支援方法（1）障害特性、学習上・生活上の困難の理解	参考書の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作	7	特別な教育的ニーズの理解と対応 母国語や貧困の問題等がもたらす特別的教育的ニーズの理解と組織的対応	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作		
	2	障害特性の理解と支援方法（2）障害特性、学習上・生活上の困難を踏まえた支援方法の理解（1）アセスメントに基づく指導と支援を中心に	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作	8	試験と総括講義 試験とこれまでの授業の総括としての講義	これまで作った自作テキストで復習しておく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを完成		
	3	障害特性の理解と支援方法（3）障害特性、学習上・生活上の困難を踏まえた支援方法の理解（2）ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり・指導と支援を中心に	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作						
	4	特別支援教育の教育課程インクルーシブ教育システムの構築、就学先等の決定プロセスに関する理解、特別支援学校・特別支援学級・通級による指導に関する制度・内容の理解、自立活動とその内容の理解、交流及び共同学習の理解	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作						
授業の概要	発達障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が通常の学級にも在籍している現状を踏まえ、当該幼児、児童及び生徒が主体的に学習し、生きる力を身に付けていくために、彼らの学習上又は生活上の困難を理解した上で、個別の教育的ニーズを把握し、園・学校総体として関係機関とも連携した組織的対応をしていくために必要な知識や支援方法を理解する。									
	5	特別支援教育の体制整備 特別支援教育コーディネーターの指名、園・校内委員会の位置付け、研修の充実、特別支援学校のセンター機能の活用、データベースの活用、ケース検討会の充実	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作						
	6	個別の指導計画・教育支援計画の作成等PDCAサイクルに基づく個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成、他機関との連携の重要性、移行支援の重要性	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作						
教科書・テキスト等	毎回、授業データを書取り又は配布し、1冊のテキストが完成できるようにする。	成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
参考書・参考資料等	特別支援教育研究（東洋館出版社：月刊）、実践障害児教育（学研：月刊）、特別支援教育（文部科学省：季刊）など		平常点 課題/レポート 期末テスト	20% 20% 50%	本科目への関心・態度・意欲 知識、理解度、思考力、判断力、表現力 知識、理解度、思考力、判断力、表現力					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E27 保育の心理学	竹下 健太	単独	2単位	こども学科 3年次	前期	選択		必修		ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
保育に必要な心理学の発達理論等を用いて子どもの発達を理解、子どもの発達に関する心理学を学修することで、子どもの発達に合わせた養護と教育が一体となった援助を行えるようになる。乳幼児期の子どもの学びの過程や特性を理解し、対人的相互作用や体験、環境を生かした保育ができるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	人が人間関係の中で成長していく様子を社会的情動的発達を中心に学修	教科書第1章を読んで疑問点をまとめておく	これまでの人間関係で自分が何を学んだかを考察	9	学校内での対人関係の発達について学修	ギャング・チャーム・ピアグループについて調べておく	子どもの人間関係形成を援助する方法を考察		
	2	人が社会・文化の中で成長していく様子を学修し子どもの発達理解の意義を考察する。	家庭の中の文化的道具を書き出しその習得方法を考察	身近にいる様々な年齢の人がどの発達過程かを考察	10	人間関係を基盤とした発達とつまずきについて学修	教科書を読み障がいについて考察	いじめの「観衆」へどう働きかけるかを考察		
	3	人とモノとの出会いを通して情動と言語を獲得する様子を学修	乳児と親の関わりを観察或は調査し疑問点をまとめる	言語発達や愛着形成に親子関係が与える影響を考察	11	就職活動を通じた自我同一性形成について学修	保育士、幼稚園教諭、保育教諭の職業選択の理由を調査	保育カンファレンスを模擬体験してみる		
	4	自己の存在に気付き、自己意識を形成していく様子を学修	子どもと親の葛藤を観察或は調査し疑問点をまとめる	保育所保育指針における保護者支援についてまとめる	12	職業生活における自己実現とつまずきについて学修	保育士か幼稚園教諭かについて大献調査	授業内容を踏まえ自分のライフプランを立てる		
授業の概要	これから保育士を目指す方や、保育に関心がある方に向けて、保育に携わりたい人の生涯発達及びその観点から考えた保育について授業を行う。									
	5	遊びを通して、知的学びに必要な認知機能を発達させ、対人関係形成の基礎を学ぶとともに身体的機能と運動機能を発達させる様子を学修	教科書事例3-1から3-5における発達の意義を考察	自分が子どもの頃つまずいたことを書きその発達の意義を考察	13	人の一生を概観し乳幼児教育の意義を学修	祖父母による育児参加について調査	「老人と子ども」統合ケアについても調査しまとめる		
	6	集団の中で自己の特性に気付いていく様子を学修	教科書事例3-6から3-8における発達の意義を考察	教科書57ページ研究課題の2,3を各自学修	14	子どもの発達理解の意義および理論と方法について学修	保育の現場でよく用いられる観察法について調べておく	実際に観察法を用いて事例を書いてみる		
	7	乳幼児期の学びに関わる理論を学び、幼稚園での日常的経験が学校での学びの基礎となる様子を学修	自分が子どもの頃信じていた素朴理論をまとめておく	自分の素朴理論が科学理論に変わったときのことを考察	15	発達理論及び子ども観・保育観とそれに基づく発達支援の方法を学修	発達をつまずきの事例を調べてまとめる	友達と話し合い事例に対する支援計画を試作する		
	8	学びにおけるつまずきを題材に、乳幼児期の学びの特性と乳幼児期の学びを支えるより良い保育について学修	小学校の頃の得意科目と苦手科目目についてまとめておく	得意科目と苦手科目目に関して心理学的に考察						
教科書・テキスト等	保育の心理学I（北大路書房）	成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
参考書・参考資料等			小レポート（15回） 期末レポート（1回） 授業態度・発言	70% 20% 10%	授業内容を自分の問題として考察できたか 主体的に調査及び考察ができたか？ 積極的参加、適切な発言					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E28 子どもの理解と援助	竹下 健太	単独	1単位	子ども学科 3年次	後期	選択		必修		A B D F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
① 子どもの心身の発達と保育実践について理解を深める ② 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する ③ 保育における発達援助について学修	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	発達理解に必要な尺度とその活用方法について演習	どのような発達検査があるか調査しまとめておく	KIDS発達検査を用いて子どもを何人か評定する	9	子どもが遊びを通して身につけたことを就学後の学びに活かす方法について演習	就学以前の子どもの遊びの事例を集めておく	子どもの学びの基礎となる遊びを色々考案する		
	2	保育及び幼児教育における個人差とそれの対応について演習	保育所保育指針の保育に関する内容を読んでおく	演習2で作成した記録から個人差を評価する	10	子どもの向社会性とレジリエンスの向上について演習する	レジリエンスを計る尺度をいくつか調べておく	子どものレジリエンスを高める関わりについて話し合う		
	3	身体感覚を通した経験の促進について演習	アフォーダンスに関する本を1冊以上読んでおく	身の周りを観察し環境が提供しているものを書きだす	11	発達課題リストを活用し援助する方法を演習	KIDSを発達課題という観点からまとめておく	発達課題を提唱者ごとにまとめて比較する		
	4	子どもの主体的行動促進のための保育者の関わりについて演習	教科書第4章の事例を読み、その意義を考察	演習2について話し合いよりよい関わりを考察	12	小学校への適応を援助する方法を演習	小学校学習指導要領と幼児教育との関連を考察	幼少連携の事例を調査しまとめる		
授業の概要	5	心の理論形成のためのよりよい関わりについて演習	心の理論を調べた様々な課題について調べておく	心の理論と言語発達の関係についてまとめる	13	様々な立場の職員と協働する方法を演習する	将来の職場にはどんな職務形態があり得るか調べておく	保育現場における協働事例を調べてまとめる		
	6	自己主張と自己抑制がバランスよく発達するための支援について演習	アサーションについて調査し、まとめておく	子どもの問題行動を自己統制の失敗という観点から考察	14	発達理解の理論と方法について学修	保育の現場でよく用いられる観察法について調べておく	実際に観察法を用いて事例を書いてみる		
	7	保育における集団の意義とその活用について演習	教科書第7章の事例を読んで対応を考えておく	幼児の集団形成に寄与する関わりについて話し合う	15	発達理論とそれに基づく発達支援の方法を学修	発達をつまづきの事例を調べてまとめておく	友達と話し合い事例に対する支援計画を試作する		
	8	行動主義に基づく保育者の関わりについて演習	行動主義について調査しまとめておく	演習2の内容について話し合いよりよい関わりを考察						
教科書・テキスト等	保育の心理学II(北大路書房)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					小レポート(15回)	70%	自分の問題として考察できたか			
					期末レポート	20%	主体的に調査及び考察ができたか			
参考書・参考資料等					授業中の態度・発言	10%	積極的参加、適切な発言はあるか			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E29 生活科論	松岡 和男	単独	2単位	子ども学科 3年次	前期	選択	選択必修	選択必修		A B C D F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
「学習指導要領の内容を理解し、指導法を探ろう」	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
学習指導要領「生活科」の指導内容をもとに、学習指導計画・支援計画を作成することができる。	1	オリエンテーション *生活科と育てたい力について *生活科改訂の基本的な考え方 【映像資料】	シラバスをもとに見直しを立てる	学んだことをまとめる	9	単元計画の作成④ *学習評価の在り方(グループ活動) 模擬保育を事例とした計画・実践・評価	幼稚園教育要領解説の該当箇所を読んでおく	自作の単元計画を評価の視点で見直す		
	2	幼児期の特性と幼稚園教育の役割について *幼児教育と領域「環境」との関連	保育内容「環境」の授業内容について復習しておく	幼児教育の特性についてまとめる	10	学習指導の進め方① *地域環境と文化理解、行事の意義 【情報端末を利用した情報収集】	児童の教育に関わる様々な関係施設について調べておく	行事の意義や異文化理解についてまとめる		
	3	生活科における指導計画と学習指導の基本的な考え方 *カリキュラム・マネジメント、指導計画作成	「カリキュラム・マネジメント」について読んでおく	指導計画の作成方法について復習する	11	学習指導の進め方② *指導体制と年間の見直し 【グループによるプレゼンテーション準備】	児童の教育に関わる様々な職務の職務について調べる	学びのまとめる		
	4	生活科における年間指導計画の作成① *児童への配慮事項 *地域の環境と内外の教育資源の話	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	配布資料を読み直し、整理しておく	12	学習指導の進め方③ *試行錯誤やくりかえす活動の設定 【プレゼンテーションソフト活用、発表】	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	学びをもとに自作の単元計画を見直す		
授業の概要	5	生活科における年間指導計画の作成② *各教科及び幼児期の教育との関わり *授業時数の適切な割り振り	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	配布資料を読み直し、整理しておく	13	学習指導の進め方④ *支え合い交流する場の工夫 *振り返り表現する場の設定	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	学びをもとに自作の単元計画を見直す		
	6	単元計画の作成① *内容の組み合わせ *単元の構想と単元計画の作成	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	単元計画についてまとめる	14	学習指導の進め方⑤(児童理解と配慮事項) *児童の多様性を生かし、学びをより豊かにするために	幼稚園教育要領解説の該当箇所を読んでおく	配布資料を読み直す		
	7	単元計画の作成② *低学年特有の発達・成長への配慮 *幼少連携と教育、学びの萌芽と環境構成	幼稚園教育要領解説の該当箇所を読んでおく	配布資料を整理しておく	15	自作の題材指導計画の見直し(グループ活動) *同じ題材のメンバーで検討会を実施 各自の指導計画の見直しと改善	自作の題材指導計画を作成しておく	検討会での学びをもとに、指導計画を完成させる		
	8	単元計画の作成③ *体験と事例をもとに部分指導案 →グループ活動による指導案作成	心に残っている「生活科」の授業について振り返りまとめる	本地の学びをもとに、自作の単元計画のテーマを決める						
教科書・テキスト等	改訂小学校学習指導要領解説 生活編(最新版)(東洋館出版社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					定期試験	50%	課題についての内容充実、自分の考え			
					毎時の振り返りワーク	40%	内容理解の深さと自分の考え			
参考書・参考資料等	平成29年度告示「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(チャイルド本社)				平常点	10%	積極性、出席時数は、4/5以上が必要			